

令和3年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
1	<p>地域の情勢に応じた犯罪抑止対策と少年非行防止対策を推進します。</p>	<p>① 地域の情勢に応じた犯罪抑止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪の減少傾向を定着させ、府民の体感治安の向上を図るため、犯罪情勢を的確に分析し、適時・適切な情報発信を行うとともに、制服警察官やパトカーによる「見せる」街頭活動等、地域の実態に即した効果的な犯罪抑止対策を推進します。 ○ 地域住民、自治体、事業者等との連携の下、防犯ボランティア活動や防犯CSR活動を推進し、社会全体の防犯意識の向上を図るとともに、防犯環境の整備を促進します。 <p>② 少年非行防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 非行の低年齢化や薬物乱用等、少年を取り巻く課題に的確に対応するため、学校を始めとする教育機関等と連携した非行防止教育や立ち直り支援等の取組の充実を図ります。 ○ 少年の特性に配慮した迅速かつ適正な少年事件捜査を推進するとともに、SNSの利用に起因する児童ポルノ事犯等、少年の心身に有害な影響を及ぼす犯罪の取締りや性被害防止に向けた保護対策を強化します。

令和3年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
2	<p>子供・女性・高齢者等の安全確保と犯罪被害者支援の充実・強化を図ります。</p>	<p>① 子供・女性・高齢者等の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ストーカー、DV、行方不明、児童虐待等の人身危機事案は、被害の潜在化・長期化に加え、事態が急展開して重大事件に発展するおそれが高いことから、部門横断的な対処により、被害者等の安全確保を最優先とした対応の徹底を図ります。 ○ 子供・女性・高齢者等の安全を確保するため、関係機関・団体と連携した広報啓発、前兆事案の検挙・指導等を強化するとともに、特に登下校時等における子供の安全確保に向けて、多様な担い手による防犯パトロールや子供見守り活動等の取組の促進を図ります。 <p>② 犯罪被害者支援の充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪被害者等が心身の被害から回復し、社会の中で再び平穏な生活を営むことができるよう、犯罪被害者等のニーズに応じたきめ細やかな支援の充実を図るとともに、関係機関・団体との緊密な連携の下、府民の犯罪被害者等に対する理解の増進と協力の促進に向けた取組を強化します。

令和3年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
3	<p>府民に不安を与える犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の充実・強化を図ります。</p>	<p>① 府民に不安を与える犯罪の徹底検挙</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 凶悪犯罪、性犯罪、住宅侵入窃盗及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関連した犯罪等、府民に大きな不安を与える重要・悪質な犯罪の早期検挙を図るため、発生初期の段階で最大限の捜査態勢を確立し、現場鑑識活動を始めとする初動捜査を徹底するとともに、犯罪防御システムを活用した高度な犯罪情報分析や科学捜査を的確に推進します。 ○ 府民の不安を早期に取り除くため、事件の発生直後から、空陸一体の機動力を発揮した迅速な組織捜査を展開し、積極的かつ先制的な職務質問による現場検挙の徹底を図ります。 <p>② 特殊詐欺対策の強化を始めとする組織犯罪対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 悪質な特殊詐欺やいわゆるアポ電強盗等の特殊詐欺に類似した犯罪等の背後で違法な資金獲得を企図する暴力団・準暴力団等の実態を解明し、各種法令を駆使した戦略的な取締りを徹底するとともに、関係機関・団体等と連携した被害防止対策を推進します。 ○ 分裂して抗争状態にある山口組、京都に拠点を置く会津小鉄会に対する警戒態勢を保持するとともに、情報収集活動を強化し、銃器・薬物事犯やみかじめ料徴収事犯等の検挙を徹底することで、資金源の剥奪を図ります。 ○ 不法就労を助長するなど、各種犯罪に加担・介在する外国人犯罪組織を早期に解体するため、その実態解明と悪質事業者等の取締りの徹底を図ります。 <p>③ 繁華街対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 暴力団・準暴力団等の動向、国際化等により変化する風俗環境に対応し、悪質な風俗・雇用関係事犯の取締りや風俗営業等の健全化に向けた指導を徹底するとともに、地元商店街や関係機関との連携・協働による環境浄化活動、街頭防犯カメラの設置促進等の取組を強化します。

令和3年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
4	<p>交通死亡事故抑止対策を推進します。</p>	<p>① 総合的な事故分析に基づく効果的な交通死亡事故抑止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通事故分析システム等を活用し、交通事故発生時間帯、場所、路線、人的・環境的要因等、その発生要因を総合的に分析した上で、交通規制、交通安全教育、交通取締り等を有効に組み合わせた交通死亡事故抑止対策を推進します。なお、交通安全の啓発については、SNSを活用した動画配信等の非接触型の活動を推進するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した対応の徹底を図ります。 <p>② 高齢者・子供・自転車利用者の交通安全対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全運転サポート車等の普及啓発、運転免許証を自主返納しやすい環境づくり等、地域の実情に応じた高齢運転者への対策と併せて、乱横断防止の広報啓発、反射材等の着用促進等の高齢歩行者への対策を推進します。 ○ 子供の交通安全に向けて、交通安全教育の充実、通学路等における道路交通環境の整備、可搬式オービスを活用した交通取締り等の総合的な対策を推進するとともに、横断歩道における歩行者優先の徹底に向けた取組を強化します。 ○ 自転車の安全利用を促進するため、交通事故に直結する悪質・危険な交通違反の指導取締り、各年齢層や対象に応じた交通安全教育、道路交通環境の整備等の対策を推進します。 <p>③ 悪質・危険運転者対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 飲酒運転、無免許運転、妨害運転、ながら運転等の交通事故に直結する悪質・危険な交通違反を根絶するため、交通取締りの強化と迅速・的確な行政処分の執行等を徹底するとともに、運転免許の更新時講習等における交通安全教育やあらゆる機会を通じた広報啓発等の取組を推進します。

令和3年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
5	<p>サイバー空間の脅威への的確な対処を行います。</p>	<p>① サイバー空間の脅威への対応の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ インターネットや先端技術の利用拡大に伴って、深刻化するサイバー空間の脅威への対応を強化するため、産学官の有する情報・知見を横断的に活用し、サイバー犯罪・サイバー攻撃に対する捜査やサイバーテロの防止に向けた官民連携による諸対策を推進します。 <p>② 組織基盤の更なる強化と被害防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 組織全体のサイバー捜査能力の底上げ、職員の情報リテラシーの向上、資機材等の充実等、サイバー空間の脅威に対応するための組織基盤の更なる強化を図ります。 ○ 関係機関・団体等との連携の下、府民のネットトラブル対応力の向上、事業者等の情報セキュリティ対策の促進等、幅広い層を対象とした被害防止対策を推進します。

令和3年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
6	<p>テロ等違法行為の未然防止と緊急事態への対処を推進します。</p>	<p>① テロ等違法行為の未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の中でも、世界各地では依然としてテロが発生しています。こうした情勢の下、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催を捉えて、国際観光都市である京都がテロの標的となるおそれがあることから、その未然防止を図るため、官民一体となったテロ対策を推進するとともに、違法行為を引き起こし、治安上の脅威となり得る勢力等に対する情報収集活動を強化します。 <p>② 自然災害を始めとする緊急事態への対処</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 甚大な被害をもたらす豪雨・地震等の大規模な自然災害を始めとする緊急事態への対処に万全を期するため、関係機関との緊密な連携の下、情報収集を強化するとともに、初動態勢の早期確立や被災者の救助能力向上に向けた実戦的訓練等の諸対策を推進します。

令和3年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
7	<p>社会の変化に適応する警察基盤の充実・強化を図ります。</p>	<p>① 警察機能を最大限に発揮できる組織の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍での社会環境の変化が地域の治安事象へも影響を与える中、いかなる状況下においても警察機能を維持するため、警察施設の計画的な整備と機能強化、装備資機材の充実、警察力の効果的な配分と部門間の連携の徹底等、第一線の現場を支える取組を推進するとともに、前例に捕らわれることなく、警察行政のデジタル化を始めとする業務の合理化・効率化の更なる促進を図ります。 ○ 全ての職員が高い士気を持って働き続けることができる職場環境を構築するため、時間外勤務の縮減や休暇取得の促進、仕事と育児・介護との両立支援、女性職員の活躍推進等の働き方改革のほか、ハラスメントの防止に向けた取組を効果的に推進します。 <p>② 組織を支える人材の確保・育成等による人的基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会情勢の急速な変化の中で、新たに生じる治安上の課題に適切に対応するため、優秀な人材の確保や職員の属性に応じた能力向上の取組を強化するとともに、国際化やサイバー空間の利用拡大に対処し得る専門性を有する人材の育成を図ります。 ○ 非違事案等の発生を防止するため、「兆」の早期発見・対処に努めるとともに、職務に対する誇りと使命感の高揚と職員相互の強固な信頼の醸成による「強靱な組織風土づくり」を継続します。